

土砂災害 ハザードマップ

山科区 大塚学区

このマップで、まず、自宅が土砂災害（特別）警戒区域に位置しているかを確認しましょう。そして、自宅周辺、避難経路などの危険な箇所を確認し、「早い段階での避難先」と「逃げ遅れたときの避難先」を考えておきましょう。

凡例



避難の際の危険箇所

大雨の際注意が必要な箇所

土砂災害特別警戒区域

土石流

土砂災害警戒区域

土石流

土砂災害警戒区域は、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命または財産に危害が及ぶおそれがあると認められる区域です。そのうち、**土砂災害特別警戒区域**は、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物・損壊が生じ、住民等の生命または財産に著しい危害が生じるおそれがあると認められた区域です。なお、**区域外においても土砂災害が発生することはあります**ので、山すそなどでは十分ご注意ください。

指定状況を詳しく知りたい方は・・・

[京都府ホームページ](https://www.prefkyoto.jp/dosyashitei)

土砂災害警戒区域等に関する「区域指定」及び「基礎調査結果」の情報

URL <https://www.prefkyoto.jp/dosyashitei>

浸水想定域（山科区）

浸水想定域は、水防法によって国や京都府が指定する上記の河川が氾濫した場合に想定される最大の浸水の深さを表しています。

山科川水系（想定雨量 355mm/48h）

浸水深
5.0m以上
3.0～5.0m未満
0.5～3.0m未満
0.5m未満

浸水深と家の関係
5m以上（2階没水）
3m～5m未満（2階浸水）
1m～3m未満（1階床上浸水）
0.5m未満（1人入浴まで渉水）

浸水想定域を詳しく知りたい方は・・・

[京都市防災ポータルサイト](https://www.bousai.city.kyoto.lg.jp)

ハザードマップ▶土砂ハザードマップ

URL <https://www.bousai.city.kyoto.lg.jp>

指定緊急避難場所（土砂）

指定緊急避難場所は、京都市が指定した、土砂災害の危険から逃れるための避難場所です。

災害時要配慮者利用施設

災害時要配慮者利用施設は、土砂災害警戒区域等に立地し、避難行動をとる際、支援を必要とする方々が利用し、またおられる施設です。

施設名

所在地

山科苑（デイサービスセンター）（老人短期入所）

施設種別

老人福祉関係施設

所在地

山科区大塚野溝町 3

施設種別

老人福祉関係施設

0

0.25

0.5

1 km

1/5,000

N

北

東

南

西

南

北

東

西